

### 「週休 2 日工事」 休工状況報告書

工事名		
工期	令和 年 月 日 ( )	～ 令和 年 月 日 ( )
提出日	令和 年 月 日 ( )	( 月分まで )

月別	成績評定				費用計上							
	振替休工の数		月内週休 2 日取得率		月単位の週休 2 日						通期の週休 2 日	
	毎月 2 回まで	判定 ※ 1	100% 以上	判定 ※ 2	月毎の暦上の現場閉所率 (土日のみ)	月毎の暦上の土、日数	月毎の現場休工数	判定 ※ 3	月毎の取得率 (28.5%以上)	判定 ※ 4	対象期間内の取得率 (28.5%以上)	判定 ※ 5
4月												
5月												
6月												
7月												
8月												
9月												
10月												
11月												
12月												
1月												
2月												
総合判定	<p>【判定】</p> <p>※ 1 振替休工の数が月 2 回以下の場合、判定は○印を記入。</p> <p>※ 2 月内取得率が、100% 以上の場合、判定は○印を記入。</p> <p>【総合判定】</p> <p>上記、判定欄全てに○印が記入されている場合に評価する。</p>				<p>【判定】</p> <p>※ 3 暦上の土曜日・日曜日の閉所では28.5%に満たない月は、その月の土曜日・日曜日の合計日数以上に閉所を行っている場合に、4週8休(28.5%)以上を達成している場合、判定は○印を記入。</p> <p>※ 4 月毎の取得率28.5%以上の場合、判定は○印を記入。</p> <p>【総合判定】</p> <p>上記、判定欄全てに○印が記入されている場合に費用計上する。</p> <p>上記、判定欄に○印が一つでも無い場合は、「通期の週休2日」で判定を行い費用計上できるか確認する。</p>						<p>【判定】</p> <p>※ 5 対象期間内の取得率が28.5%以上の場合、判定は○印を記入。</p> <p>工期の最終月で確認し判定する。</p> <p>【総合判定】</p> <p>上記判定欄が、○印の場合に費用計上する。</p>	

※ 成績評定の「振替休工の数」欄および「判定」欄については、「完全週休 2 日制工事」を選択した場合に、記入すること。

※ 表が不足する場合は、行または用紙を追加すること。

※ 毎月5日までに前月分までを累計したものを監督員に提出すること。

総括監督員	主任監督員	監督員	副監督員

現場代理人	主任(監理)技術者

# 「週休2日工事」 休工状況報告書

作成事例

工事名	一級河川 ●●●川 護岸改修工事 (▲▲▲橋上流右岸R6)
工期	令和6年4月8日(月) ~ 令和7年2月14日(金)
提出日	令和7年2月8日(土) (4月分まで)

月別	成績評定				費用計上							
	振替休工の数		月内週休2日取得率		月単位の週休2日						通期の週休2日	
	毎月2回まで	判定 ※1	100%以上	判定 ※2	月毎の暦上の現場閉所率(土日のみ)	月毎の暦上の土、日数	月毎の現場休工数	判定 ※3	月毎の取得率(28.5%以上)	判定 ※4	対象期間内の取得率(28.5%以上)	判定 ※5
4月	0	○	100.0%	○	22.2%	2<	4	○	44.4%	○	55.5%	—
5月	0	○	100.0%	○	25.8%	8	12		38.7%	○	50.0%	—
6月	0	○	100.0%	○	33.3%	10	10		33.3%	○	51.4%	—
7月	1	○	100.0%	○	25.8%	8<	9	○	29.0%	○	47.5%	—
8月	0	○	100.0%	○	20.8%	5<	7	○	29.1%	○	47.2%	—
9月	2	○	100.0%	○	30.0%	9	11		36.6%	○	48.3%	—
10月	0	○	100.0%	○	25.8%	8<	9	○	29.0%	○	47.3%	—
11月	0	○	100.0%	○	30.0%	9	10		33.3%	○	46.2%	—
12月	0	○	100.0%	○	25.9%	7<	7	○	25.9%	○	44.4%	—
1月	0	○	100.0%	○	21.4%	6<	7	○	25.0%	○	42.8%	—
2月	0	○	100.0%	○	28.5%	2	2		28.5%	○	42.4%	○
総合判定	評価する				費用計上する						—	
	【判定】 ※1 振替休工の数が月2回以下の場合、判定は○印を記入。 ※2 月内取得率が、100%以上の場合、判定は○印を記入。 【総合判定】 上記、判定欄全てに○印が記入されている場合に評価する。				【判定】 ※3 暦上の土曜日・日曜日の閉所では28.5%に満たない月は、その月の土曜日・日曜日の合計日数以上に閉所を行っている場合に、4週8休(28.5%)以上を達成している場合、判定は○印を記入。 ※4 月毎の取得率28.5%以上の場合、判定は○印を記入。 【総合判定】 上記、判定欄全てに○印が記入されている場合に費用計上する。 上記、判定欄に○印が一つでも無い場合は、「通期の週休2日」で判定を行い費用計上できるか確認する。						【判定】 ※5 対象期間内の取得率が28.5%以上の場合、判定は○印を記入。 工期の最終月で確認し判定する。 【総合判定】 上記判定欄が、○印の場合に費用計上する。	

対象期間内の全ての月毎に現場閉所日数の割合(以下「現場閉所率」という。)が、28.5%(8日/28日)の水準の状態をいう。  
 ただし、暦上の土曜日・日曜日の閉所では28.5%に満たない月は、その月の土曜日・日曜日の合計日数以上に閉所を行っている場合に、4週8休(28.5%)以上を達成しているものとみなす。

※暦上の土曜日・日曜日の閉所率は22.2%  
 4月の対象期間内の土・日は2日  
 4月に実際の休工は4日  
 その月の土日の合計数以上に休工を行っているため  
 判定に「○」を手書きで書き込む。

黄色の着色セルは、監督員が状況を確認し、達成している場合に「○」印を手書きで書き込むこと。

黄色の着色セルは、監督員が状況を確認し、達成している場合に「評価する」、「費用計上する」を手書きで書き込むこと。

※ 成績評定の「振替休工」の数欄および「判定」欄については、「完全週休2日制工事」を選択した場合に、記入すること。  
 ※ 表が不足する場合は、行または用紙を追加すること。  
 ※ 毎月5日までに前月分までを累計したものを監督員に提出すること。

総括監督員	主任監督員	監督員	副監督員	現場代理人	主任(監理)技術者
大阪	中阪	小阪	阪	田中	中田